

年 組 名前:

大月38.7度 全国最高



国道20号の路面には、水があるように見える「逃げ水」が現れた
11大月市御太刀1丁目撮影・広瀬徹

熱中症疑い県内9人 90代重症

山梨県内は10日、高気圧の影響で気温が上昇し、最高気温は大月が38.7度で今年の全国最高気温を観測した。勝沼が38.3度でこの日の全国2位だった。県内4観測地点で猛暑日(最高気温35度以上)となり、県内9観測地点で今年最高気温を記録した。熱中症の疑いで男女9人が搬送され、このうち1人が重症。甲府地方気象台によると、各地の最高気温はこのほか、甲府36.5度、甲府・古関35.3度、韭崎34.5度、身延・切石34.2度、河口湖32.9度など。平年を9.4〜4.3度上回った。大月市では強い日差しが照りつけ、路面に水があるように見える「逃げ水」と呼ばれる現象が見られた。県内10消防本部によると、10日午後5時までに7市町で

6歳〜90代の男女9人が熱中症の疑いで搬送された。大月市で畑作中に倒れた90代の男性が重症。このほか、中等症が4人、軽症が4人。一方、県内では気温や湿度などの予想アラートを算出する暑さ指数を基に、環境省などが発表する「熱中症警戒アラート」は出なかった。勝沼ではアラートを出す基準となる暑さ指数33を日中に記録。環境省担当者は「アラートはあくまで予想データを基に出している。アラートが出ていなくても熱中症の対策を心がけてほしい」と呼びかけた。11日は高気圧に覆われるが、湿った空気の影響を受け、午後には一部地域で雨や雷雨となる見込み。最高気温は甲府36度、河口湖33度。

〈森航平、松本飛勇馬〉

問1

7月10日は、大月の最高気温が38.7度となり、今年の全国最高気温となりました。

気温の上昇は、何の影響でしょうか。

(2023年7月11日付 山梨日日新聞 27面)

問2 「逃げ水」とは、どのような現象でしょうか。

問3 あなたが注意している、熱中症対策を書いてください。